

見どころ案内

チョウジソウ
(キョウチクトウ科)
日本原産で、5弁の涼しげな青い花を5月に咲かせます。

アヤメ(アヤメ科)
「いずれアヤメかカキツバタ」とは、どちらも美しく選び迷うという意味です。アヤメは花弁に網目模様があるのが区別点です。

シヤガ (アヤメ科)
白い花が次々と開花し、数箇所に群生しています。

エビネ(ラン科)
日本原産の地生ランで、塊茎がエビのように見えることから海老根といわれています。

バラ(リージャンロード・クライマ一)
(バラ科)
早咲きのつるバラです。中国雲南省の麗江路(リージャン・ロード)で発見されました。

シャクナゲ、ツツジ
(ツツジ科)
紅色や淡い桃色など、いろいろな品種が咲いています。

ヒスイカズラ (マメ科)
フィリピン原産の絶滅危惧種。宝石の翡翠(ひすい)に似た色をしており、棚から蕾や花が垂れ下がっています。

ジャーマンアイリス
(アヤメ科)
地中海原産のアヤメの仲間を改良したもので、花弁にひげのようなものが見えるのが特徴です。

ノダフジ(マメ科)
日本原産。休憩展望塔に続く通路沿いの藤棚が見頃です。

ドイツスズラン
(クラスギカズラ科)
ヨーロッパ原産で、日本のスズランより大型です。良い香りが漂っています。

ハナミズキ(ミズキ科)
イベント広場の両サイドに紅白の品種が咲いています。

ロサ・キネンシス・スポンタネア (バラ科)
「幻のバラ」とも呼ばれ、現代バラに四季咲き性をもたらしたコウシンバラの野生型です。1980年代に日本人プラントハンターが中国四川省で再発見するまで存亡が不明となっていた貴重なバラです。咲き進むと色が濃くなります。

ハンキングバスケット
カスケードに、赤、白のゼラニウム、ペチュニアなどを使った巨大ハンキングバスケットがお目見えしました。

バラ(パークス・イエロー・ティー・センチッド・チャイナ)
(バラ科) 19世紀に中国からヨーロッパにもたらされ、現代バラの改良に重要な役割を果たしたバラです。ティーの香り。

